

新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止対策
(バドミントン)

1. 密を避けた具体的な運営方法

- (1) 試合会場での試合進行閲覧の為に試合ドローの貼り付けは行わない。
- (2) 選手へコーチアドバイスは試合中以外、フロアで行わない。
- (3) 主審はゲーム開始時に密を避けるため審判台付近へ集合させずソーシャルディスタンスの範囲でトス、選手確認などゲームスタートのオペレーションを行う。
- (4) 運営本部は運営に必要な最低限の人数を配備し競技運営を行う。

2. その他競技上注意すべき点

- (1) 遮光性に配慮の上、可能な限り窓や扉を開放して行う。
- (2) 換気のタイミングや換気時間等を決め、事前に周知する。なお、常時換気できる設備がある場合は、可能な限り使用する。
- (3) コートサイドには選手が使用するカゴやドリンクケースを設置せず、各自バッグを持参させ、飲み物も各自バッグに収容させる。
- (4) コーチ席は1席、または設置しない
- (5) コートのモップ掛けは、ゲーム毎と試合終了後に行う。
- (6) 毎試合終了後、審判台・サービスジャッジ席・線審席・コーチ席・サービス測定器・得点板等を消毒する。
- (7) 応援は、声を出さず拍手などで行う。
- (8) ラケット・タオル等の用具の貸借はしない。
- (9) 床の汗拭きはモップもしくは所定の用具を使用する。
- (10) 汗をコート内やコートサイドに投げない。
- (11) シューズの裏を手で拭かない。
- (12) 試合中、意図的な声出しを極力しない。

※発熱等体調不良の場合は、参加をご辞退ください。

また、当日会場での発熱が認められた場合は、その団員と濃厚接触となるような団員参加をご辞退いただきます。

※健康管理チェックシート（単位団・個人）の提出がない方は会場に入ることができませんので、必ずご持参ください。（指導者、団員、コーチ、保護者等すべての方）